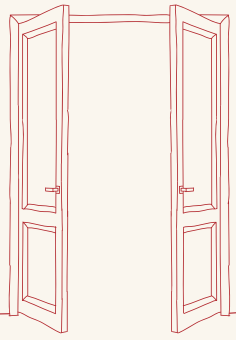


私のネクストステージ

—退職者への質問状—

Vol.30



車中泊で気ままな夫婦旅。 人との出会いで広がる世界



昨年旅した青森県田舎館村の
田んぼアート

元船橋市消防署員
土橋 伸二さん (73歳)
2004年3月退職



【どばし・のぶじ】1945年、千葉県船橋市出身。1966年、船橋市消防局に入局し、火災の消火にあたる警防隊員や、傷病者を病院まで搬送する救急隊員として市民の命を守る仕事に従事してきた。2人の子どもが既に独立していたこともあり、2004年、定年を1年残して退職。現役時代の頃から登山とキャンプ、ゴルフが趣味と根っからのアウトドア派。

— 土橋さんは59歳で退職されたそうですが、退職後のことは何歳くらいから考えられていたのですか。

土橋さん 55歳くらいからいろいろと思い描いていました。妻と2人で自由気ままに旅をしたいなど。

— それを聞いて、奥さまはどう思われましたか？

奥さま びっくりしましたよ。「退職したら買いたい物がある。ハーレー（ダビッドソン）かキャンピングカー」と言われて、だったらキャンピングカーのほうがいいって。ハーレーの後ろに乗るよりはいいでしょ。家族みんなで出かけることもできますし。

— ハーレーの2人乗りでの夫婦旅ですか！それはご遠慮したくなりますね。退職後、念願のキャンピングカーを手に入れて、どのくらいのペースで旅をされたのですか。

土橋さん だいたい月2回くらいかな。多い時は3回くらい。夏休みなんかは長男夫婦や孫たちも一緒に6人で、毎年キャンプに行っていました。キャンピングカーにはベッドやキッチン、トイレ、シャワーと設備がひと通りそろっていたから、快適に旅ができました。とくに孫がすごく喜んでくれてね、楽しかったですよ。

— キャンピングカーには何年間乗られたのですか。

土橋さん 5年間です。孫が中学生になったら部活で夏休みも忙しくなってしまうので、

キャンプに行かなくなりました。それに、キャンピングカーは大きいから自宅の駐車場に停められないし、街乗りができないんです。そんなこともあって、夫婦2人の旅になつてからはワゴン車に買い換えました。車内にベッドが2つとミニキッチンがついていて、車中泊もできる仕様です。

— 旅先はどうやって決められるのですか。

土橋さん テレビの旅番組が好きでよく観るんですが、妻と「今度はここに行きたいね」という感じで決めていきます。あとは自宅からの距離ですね。1日250km、4泊5日くらいで行けるところ。行きは高速道路を使って、帰りは一般道で気のおもむくままに、あちこち立ち寄りながら。計画があるようで、ないような旅です。

— 車中泊の旅の魅力は何ですか。

土橋さん 自由に旅ができるということですね。人気の観光地でも、近くの「道の駅」に泊まって朝一番で行くと、ゆつくり見られます。混雑しているのが苦手なんですよ。

— 確かに、旅館に泊まっていたら、朝食の時間が決まっていたり、チェックアウトしたりで、そつはいかないですよな。

奥さま それに、車中泊なら予約なしで、いつでも泊まれますからね。

— 道の駅はよく利用されるのですか。

土橋さん 車中泊のため車を停めるのは、たいてい道の駅です。日帰り入浴や食堂があるか事前に調べておいて、もし食堂がな

長野県の諏訪大社を訪れたときには、「おんばしら館よいさ」に入館し、御柱祭の木落としを体験



以前所有していたキャンピングカーは、アメリカ製



現在の愛車は街乗りもできるワゴン車。車内にはテーブルをばさんで2つのベッドとキッチンがある。旅に出る際は、飲み水や電源用のバッテリーなども積む。「最初は車中泊に抵抗があった」という奥さまも、今では快適に旅を楽しめているそう

地元の仲間と同じ目的地を目指して、それぞれ別ルートで車中泊の旅をすることも。目的地で落ち合って、観光したり宴会したり（写真中央が土橋さん、右が奥さま）

ければスーパ―でお惣菜を買っていきます。

——道の駅で車中泊されている方は多いのでしょうか。

土橋さん たくさんいますよ。夫婦で旅されている方も多いです。そういうところで知り合った人から、どこそこが良かったと教えてもらったり、観光地のパンフレットをもらったりして、情報交換しています。「あそこは良かった」と聞くと自分も行ってみたくなくて、目的地が変更になることもしょっちゅうです。

奥さま 主人は人懐っこいから、初対面の人でも気さくに話しかけるんです。「あれ？いないなー」と思って探すと、知らない人じゃバツていますね。

土橋さん 初対面の人と、車をきつかけに知り合って、一緒に観光したり、写真を撮ったりすることはよくあります。旅先でいろんな人と話をする、自分の知らなかった世界を知り、学ぶことができます。趣味があう人と出会って意気投合することもあります。それも大きな楽しみの一つです。

——どんなところを観光されるのですか。

土橋さん 神社仏閣が好きですね。それも、こじんまりした穴場的なところ。車を走らせていて「国宝」の案内板を見つけて入ると、誰もいなかったり。車中泊の旅をするようになって、いろいろと発見が増えました。奥さま 私も、主人の影響でそれまで興味のなかった神社仏閣が好きになりましたよ。

——夫婦で旅をされていると、ケンカになったりしませんか。

奥さま ちょっとしたケンカはありますよ。「また行先変わったの？」とか私が言ったりして。

——車中泊の旅を成功させるポイントを、教えてください。

土橋さん 無理をしないということです。私も最初の頃は結構な距離を走っていましたけど、今は1日で行ける距離を2日かけて走ったりしています。時間にも気持ちにも余裕をもつことが大事でしょうね。

——今後、車中泊で行きたいところはどこですか。

土橋さん 四国です。

——4泊では無理ですよ。

土橋さん 2週間くらいかかるでしょうけど、四国を旅した人の話を聞いて、行ってみたくまりました。陽気が良くなる5月から紅葉の時期くらいまでが、旅の季節です。旅から戻って「疲れたねー」と言っているのに、直後にはもう「次はどこ行こうか」と言ってますからね。本当に楽しいですよ。

——現役世代へのメッセージをお願いします。

日々の暮らしの中で楽しいことを見つけて笑って暮らせるように心がけていますが、何より健康が一番です。元気でいれば何でもできます。無理をしないで、自分なりの生き方を探してください。

——お話をいただき、ありがとうございました。